

文部科学大臣杯・国土交通大臣杯
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2011
—東日本大震災被災ジュニアヨットクラブ復興支援レガタ—
競技会概要

- 1 競技会名 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2011
- 2 開催趣旨 全国の加盟ジュニアヨットクラブと海外チームのジュニアセーラーが一堂に会して、日頃鍛えた帆走技術とシーマンシップを競い合い、その向上を図るとともに海外チームとの交流により国際感覚を磨き、その視野をひろげ、また地域の子供たちとの触れ合いを通して健全な水辺スポーツとしてのヨットを啓蒙、普及させて生涯スポーツの発展に貢献することです。
- 3 共同主催 社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下J.J.Y.U.と云う)
愛知県ヨット連盟 名古屋市ヨット連盟 なごやジュニアヨットクラブ
- 4 後 援 文部科学省 国土交通省 愛知県 蒲郡市
愛知県教育委員会 財団法人愛知県体育協会
蒲郡市教育委員会 蒲郡市体育協会
財団法人日本セーリング連盟(以下JSAFと云う)「承認番号H23-4」
公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団(以下YMFSと云う)
日本オブティミストディンギー協会(以下OP協会と云う)
日本シーホッパー協会 セーリングスピリッツ協会
日本レーザークラス協会 日本FJ協会
株式会社舵社
- 5 協 賛 エスビー食品株式会社 大塚製薬株式会社
- 6 協 力 三谷漁業協同組合 財団法人愛知県都市整備協会
海陽海洋クラブ 中部学生ヨット連盟
国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2011参加クラブ指導者・保護者

7 運 営 国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会 2011 実行委員会

8 競技会役員

| | | |
|-------|-------|-----------------|
| 名誉会長 | 大村秀章 | 愛知県知事 |
| 名誉副会長 | 金原久雄 | 蒲郡市長 |
| 会長 | 石原伸晃 | J.J.Y.U.会長 |
| 副会長 | 河野博文 | J.S.A.F.会長 |
| | 佐藤精知夫 | J.J.Y.U.副会長 |
| | 豊田鐵郎 | 愛知県ヨット連盟会長 |
| | 二村種義 | なごやジュニアヨットクラブ会長 |
| 名誉顧問 | 神野信郎 | 愛知県ヨット連盟名誉会長 |
| 委員長 | 伊藤雅宣 | J.J.Y.U.専務理事 |
| 副委員長 | 森 信和 | 愛知県ヨット連盟理事長 |

9 期 日 平成 23 年 8 月 5 日(金)、6 日(土)、7 日(日)の 3 日間

10 行事日程

| | | |
|-------|---------|-------------------|
| 開会式 | 8 月 5 日 | 16 : 00 ~ 17 : 00 |
| 国際交流会 | 8 月 5 日 | 18 : 00 ~ 20 : 00 |
| 競技 | 8 月 6 日 | 10 : 00 ~ |
| | 8 月 7 日 | 9 : 30 ~ 14 : 00 |
| 閉会式 | 8 月 7 日 | 15 : 30 ~ 16 : 30 |

11 会 場 海陽ヨットハーバー

〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町 1 丁目 7 番地

電話 0533-59-8851 FAX 0533-59-8185

※ 開会式：海洋ヨットハーバー内

※ 国際交流会会場： ラグナシア

〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町 2 丁目 1 番地

電話 0533-59-2700

※ 競技海面： 海陽ヨットハーバー沖（上級者用、初級者用の 2 海面使用）

※ 閉会式：海陽ヨットハーバー内

12 競技種目

① OP 級初級者 ② OP 級上級者 ③ レーザー 4.7
④ シーホッパー級 SR ⑤ ミニホッパー級
⑥ セーリングスピリッツ級 ⑦ FJ 級

13 競技内容

(1)種目別個人対抗レース

- ①国内ジュニアヨット種目別個人対抗レース
- ②パンパシフィックジュニアヨット種目別個人対抗レース

(2)ジュニアヨットクラブ対抗レース

- ①国内ジュニアヨットクラブ対抗レース
 - ②パンパシフィックジュニアヨットクラブ対抗レース
- 詳細は別紙「レース公示」の通りです。

14 賞

(1)個人表彰

- ①特別表彰 文部科学大臣杯 国土交通大臣杯
蒲郡市長賞 J.J.Y.U.会長杯 愛知県ヨット連盟会長杯
小澤吉太郎杯 海王丸杯 奥村純雄杯 YMFS 理事長杯
- ②J.J.Y.U.表彰 入賞メダル、表彰状
- ③国際交流表彰 J.J.Y.U.表彰状とメダル

(2)団体表彰

- ①国内ジュニアヨットクラブ対抗レース J.J.Y.U.会長杯、入賞盾、表彰状
- ②パンパシフィックジュニアヨットクラブ対抗レース J.J.Y.U.表彰状と盾

(3)特別賞

- ①国内ジュニアヨットクラブ対抗レース上位3クラブの選手（各クラブ1名）を海外研修に派遣、その渡航費を援助します。
- ②同じく国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの7位と10位のクラブの2選手（各クラブ1名）を関東水域OP連絡会主催「タイクリニック」の海外研修に派遣することで所定の費用を全額援助します。この特別賞は東日本大震災の諸般の事情で中止になった5月開催予定の第31回日本少年少女オープンヨット大会（江の島大会）で授与することになっていたものです。これを楽しみにしていたクラブや選手のことを考えて本競技会に併せて提供することにしました。

なお、当連盟の海外研修の目的から、各クラブにおいて派遣選手を選抜する際に下記の通りのことを配慮するものとします。

- a) 海本競技会に参加した選手であること。
- b) 過去に海本競技会に参加した選手であること。
- c) 外派遣外派遣(競技大会やセーリングクリニック等で)の経験のない選手であること。
- d) 指導者が引率するが、基本的なこと(生活、練習等)は自分で出来ること、積極的にコミュニケーションが取れること。(語学が上手ということではない)

※本競技会に参加料等を支払った選手、指導者、保護者、同伴小中高生には参加記念品を差し上げます。

※交流会費を支払った証としてIDカードを、弁当代には引換券を配布します。

- 17 参加申込方法 所定の「参加申込書」と「参加選手リスト」(名前には必ずフリカナを付けて下さい)に必要事項を記入の上、期限までに下記の申込み先宛てに郵送して下さい。またメール送信可能な方はファイルの添付送信で参加を申込んで下さい。その場合のファイルの様式は下記の申込み先のメールアドレスにお問合わせ下されば返信いたします。
- 参加申込みと同時に、参加料等の払込は申込み先とは別のJ.J.Y.U.の下記郵便口座へ専用「払込取扱票」を使って、その通信欄に送金明細(参加人数、金額)、ご依頼人欄にクラブ名、代表者名、住所、電話等の必要事項を記入し合計金額を確認の上、払込手続きをして下さい。

《参加申込み先》 〒225-0003 横浜市青葉区新石川3-16-11
本競技会実行委員会 事務局長 小野一臣
TEL&FAX 045-911-1132
E-mail : kazuono@sk9.so-net.ne.jp

《参加料等振込先》 郵便口座番号 00190-1-713831
口座名義 社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟

- 18 申込期限 「参加申込書」、「参加選手リスト」の郵送及び参加料等の専用「払込取扱票」による郵便払込みは平成23年7月4日(月)までに必着とします。
- 19 宿泊の紹介 競技会期間中の宿泊については参加申込書に同封の「宿泊施設のご案内」を参考の上、各自でお申込下さい。この時期は夏休みの予約で大変混み合いますので6月20日頃までに、予約を済ませて下さい。
- 20 サポートポート 「参加申込書」第4項に必要事項を記入の上、申込んで下さい。持込み料は各自が参加受付時までに海陽ヨットハーバー管理事務所に直接支払ってください。
- 21 留意事項 *本競技会は選手を教育、指導する立場から、その所属するクラブの指導者・保護者が競技会及びレース運営について意見や疑義を申したる場合は、参加申込みをした指導者・保護者のうち、あらかじめ届けのあった指導者

- 代表者一人(J.J.Y.U.公認指導員であること)に限定されるものとします。
- *本競技会は選手の安全を第一とするために、出艇及び帰着申告はその所属する指導者・保護者が責任をもって自分のクラブの全選手についての届出をすることとします。
 - *競技会参加者は自らスポーツ傷害保険及び損害賠償責任保険に加入して下さい。
 - *競技会参加者は健康保険証(カードまたはコピー)を持参して下さい
 - *熱中症予防のため、帽子・パラソル・テント等の日除け及び飲料水を用意して下さい。

【問合せ先】 本競技会実行委員会
事務局長 小野一臣
TEL&FAX 045-911-1132
携帯 09025682181
E-mail : kazuono@sk9.so-net.ne.jp